すごいぞ！金沢の自然！

金沢には山がある！海も川も！森も林も湖も！

金沢市には山から海まで変化に富んだ地形があるため、様々な自然環境があり、そこにはとても多くの種類の動植物がすんでいます。

金沢市の地形は、金沢で一番高い山の奈良岳や医王山などの山々、野田山・寺町台地、小立野台地、卯辰山などの低い山や台地、そして金沢平野から海岸の砂浜へとつながっています。

金沢市の北部には石川県で一番大きな潟（海の入り江がふさがれてできた湖）の河北潟が広がっています。

街中までのびる 生き物の道！

金沢市の中心部には犀川と浅野川の２本の川がほぼ平行に流れています。この２本の川にはさまれて小立野台地があり、犀川の南に寺町台地、浅野川の北に卯辰山があります。

犀川に浅野川にふってきた台地の崖地は、土地の利用が難しいため自然の緑地になり、山地から市の街中まで様々な生き物が行き来できる「緑の回廊（通り道）」になっています。

自然を守るために！

大切な生き物を保護しています！

石川県では、「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」で、特に保護が必要な県内の野生動植物（令和2年時点で20種）を「石川県指定希少野生動植物種」に指定して手厚く保護しています。

ジャーブがンコロウヒキ▶

生き物のすむ地域を守っています！

生き物を守るには、生き物だけではなく、その生き物のすんでいる地域の自然環境（空気、土、水、光、地形、動植物などすべて）をそなえることが一番大切です。

金沢市内では「医王山」と「獅子吼高原」の一部が県立自然公園に指定されています。

県内には全部で５カ所の県立自然公園があります。

自然のことを知ってもらう活動をしています！

自然を守るためには、少しでも多くの人達に自然のことを知ってもらい、興味と関心を持ってもらうことが大切です。キコ山ふれあい研修センターでは、学校の合宿や自然体験のイベントをとおして、自然の素晴らしさを学んでもらうための活動をしています。

みんなで自然を守る方法を考えてみよう！

自然を守る方法は、数え切れないくらいあります。どんな方法があるか、せひみんなで考えてみてください。

医王山の自然をもっと楽しむために！

医王山の成りたちと地形を知ろう！

蔦沼（とんでいわ）

医王山は、今から約1800万年～2000万年前の火山活動によってできた山です。しかし、火山活動がおさまって長い年月がたち、雨や風で少しずつ岩石や土砂が削られ、今ではその頃の地形は残っていません。

本当は「医王山」っていは無い？！

医王山は、金沢の街中から良く見えるので、多くの市民から親しまれています。

ただし「医王山」といえば、一つの山の名前ではありません。金沢市と富山県南砺市の境にあるいくつかの山々のあつまりをまとめて「医王山」といいます。

山の名前		標高(山の高さ)
医王山	奥医王山（おくいおうさんせん）	939m
	白兀山（しらはげやま）	896m
	夕霧峠（ゆうきりとうげ）	845m
	黒澤山（くろたにやま）	712m
	戸室山（とむろやま）	548m
	キゴ山（きごやま）	545m

山の高さを表す「標高」とは、どこの場所の高さを０mにしての山の頂上までをはかった数だよ。

医王山県立自然公園に指定！何のために？

各都道府県を代表する優れた風景地について知事が指定する自然公園が「都道府県立自然公園」です。

国の環境大臣が指定する国立公園・国定公園とともに、自然環境の保護と快適で適正な利用を目的として指定されます。

医王山は、石川県知事と富山県知事の両方からそれぞれ県立自然公園の指定を受けています。

自然公園は、街中にある施設として整備された普通の公園とは違い、自然環境を保護するために指定した地域全体をいいます。その地域内の自然の森林や湖、沼、川など全部が自然公園の一部です。

名　称	医王山県立自然公園
指定の時期	富山県：昭和50年（1975年）２月 石川県：平成８年（1996年）３月
場　所	金沢市と富山県南砺市 石川県側の範囲は奥医王山の周辺、南北９km、東西５kmを範囲にする山岳
面　積	富山県：2,563ha（25,630,000㎡） 石川県：2,940ha（29,400,000㎡）
指定の内容	1．建物や道路を作ったり直したりすること 2．木材などを切り出すこと 3．鉱物や土石の掘り出し・持ち出しをすること 4．土地を切りひらいたり、土地の形を変えること 5．広告や看板などを置くこと 6．指定されている貴重な植物を採取または傷つけたりすること

医王山や金沢の自然について調べよう！

図書館やキゴ山にある本やパンフレットで調べよう！

書　名	著者・編集・発行
いしかわ人は自然人 №27、№55	編集：自然人編集委員会 発行：(株)橋本確文堂
医王山県立自然公園パンフレット	石川県生活環境部自然環境課
キゴ山ブックレット №１～４	銀河の里キゴ山 （キゴ山ふれあい研修センター）

インターネットで調べよう！

題　名	アドレス
石川県／県立自然公園	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/kankyo/6.html https://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/kankyo/8.html
医王山県立自然公園	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/sizenkouen/iouzen_jouhou.html
ふるさと石川の環境を守り育てる条例	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kankyo/jyorei/
いしかわの生物多様を守るために（希少種の保護）	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/srdb/documents/kisyosyu.pdf
いしかわレッドデータブック概要紹介	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/reddata/rdb2020/rdb_2020_top.html
金沢の自然を楽しもう	https://www4.city.kanazawa.lg.jp/25001/sizen/
かなざわの環境（金沢市環境基本計画年次報告書）	https://www4.city.kanazawa.lg.jp/25001/kihonkeikaku/paper_kanazawa_env.html

キゴ山ブックレット№4－1　医王山の自然
発行：令和２年（2020年）11月
金沢市教育委員会生涯学習部生涯学習課
キゴ山ふれあい研修センター
金沢市平等本町カ13番地１
TEL 076－229－1141　FAX 076－229－2511

医王山の自然

金沢の大切な自然について調べてみよう

銀河の里キゴ山
（キゴ山ふれあい研修センター）

医王山の自然を守ろう！

医王山の奥山を守ろう！（奥医王山・白兀山・大池平地区）

このあたりは標高が500m以上ある、人の手があまり入っていない「奥山」です。「冷温帯落葉広葉樹林帯」となっています。

標高約800mから奥医王山（939m）や白兀山の山頂にかけてはブナ林、標高約650m～800mはブナーミズナラ林、標高約550m～650mはクリーミズナラ林がみられます。

森下川の源流である豊吉川上流は、三蛇ケ滝のように深い谷や急な崖地が多く、ケヤキやサワグルミ、トチノキなどの自然林が多くなっています。

医王山の林

医王山の里山を守ろう！（戸室山・キゴ山地区）

金沢市の市街地から見て、医王山の手前にある二つの山が、戸室山とキゴ山です。標高は戸室山が548m、キゴ山が546mです。このあたりは人がくらしに役立ててきた「里山」です。どちらの山も今から約40万年前に火山として活動していた山で、戸室石の産地です。

医王山の貴重な植物

医王山県立自然公園（石川県）では、貴重な植物を保護するため、85種の植物が指定植物とされています。

県知事の許可を受けずに、自然公園の特別地域内で指定植物を採ったり傷つけた場合には、「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」により罰せられます。

医王山と人とのかかわり

山の名前と伝説

昔、山で修行する泰澄（たいちょう）という偉いお坊様がおりました。ある時、元正天皇が重いご病気になり、それを泰澄がお祈りの力で治したため、泰澄が修行していた山を、病気を治してくれる仏様「薬師如来（やくしにょらい）」の別名「大医王仏（だいいおうぶつ）」にちなみ「医王山」というようになったということです。また、薬草がとてもたくさん生えているので「医王山」という地名がついたともいいます。

泰澄の弟子に臥行者（ふせりぎょうじゃ）という人がおりました。臥行者は海の船に積んである米俵を山まで念力で飛ばして運ぶことができました。船ごと米俵を飛ばした時に途中で空から米俵が落ちたところを「俵町」、船をこぐ時に使う「櫓（ろ）」が落ちた山を、「飛んできた櫓」が落ちて「飛ぶ櫓」、のちに戸室山と呼んだということです。

医王山と人のくらし

医王山のふもとにすむ人々は、「いろり」や「かまど」で使う炭や薪を作るために近くの里山にコナラやクヌギなどの木を植えて林を作りました。これを雑木林といいます。そして雑木林の木を毎年場所を変えて切り出して薪や炭にしていました。このようにして人の手で大切に使われることによって雑木林は守られてきました。

雑木林には、とてもたくさんの鳥や獣、虫や植物がすんでいます。人が薪や炭を燃料として利用することが雑木林を守り、そして生き物を守ることになるのです。

キゴ山の雑木林